



「緑のこだま・いずも」



No.51
令和6(2024)
7/12

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp
ホームページアドレス: http://www.izurin.jp/



大径木の伐採を行いました

出雲市内において、樹齢200年以上とも言われるケヤキの大径木4本を、大型クレーンやトレーラーを駆使し、10日以上の日数を掛けて伐採から搬出を行いました。苦勞したこの現場は、今後も記憶に残る事になるでしょう。



目次

Contents

●大径木の伐採を行いました …………… 1	●令和6年度 通常総代会提出議案 …… 3	●組合員の皆様をお願いします! …… 5
●ごあいさつ …………… 2	●事業部 森林整備課からの事業紹介 … 4	●緑の少年団活動 …………… 6
●令和5年度 決算報告 …………… 3	●事業部 業務課からのお知らせ …… 5	●竹林の拡大抑制に最適 除草剤 …… 6



ごあいさつ

代表理事組合長
山崎 文幸



組合員の皆様には、平素より出雲地区森林組合の事業活動に対して格別のご支援とご理解を賜り厚くお礼を申し上げます。また、5月30日には朱鷺会館で令和6年度通常総代会を開催いたし飯塚出雲市長様、兒玉市議会副議長様をはじめとするご来賓の出席を賜る中、総代169名(本人出席89名、書面議決78名、委任状2名)により令和5年度事業報告、令和6年度事業計画など7議案のご審議をいただき全議案すべてにおいて原案どおり承認をいただきました。

さて、森林を取り巻く状況は、所有者の高齢化、担い手不足、生活環境の変化により、手入れが行き届かない森林が増加傾向です。しかし、森林は二酸化炭素の吸収源としての機能や水源の涵養、土砂災害の防止など多面的な機能を有しており、森林が荒廃していく一方で、限りある資源として「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の推進が図られています。国では、本年度から森林整備をより推進するため森林環境税の創設をされました。この税は令和元年度から私有林人工林割、人口割、林業就業者割により森林環境贈与税として自治体に配分されています。また、国民病とまで言われています花粉症対策は、発生源対策としてスギ人工林の伐採促進、花粉の少ない森林への転換促進が押し進められ島根県でも少花粉のスギ苗生産に移行しつつあります。

出雲市では「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」による林業施策として市公有林の積極的な伐採と再造林を行い、それにより市産材の生産利用を積極的に支援をする「攻めの林業」を林業振興の方針と伺っております。また、各分野においての担い手不足問題は林業でも深刻な問題となっており、このことにもご理解をいただいております。組合においても優先課題として取り組んでいきます。

当組合は新植事業から下刈、除伐、間伐等の保育事業、間伐材を利用した加工事業、製紙用チップ・バイオマス発電用燃料チップ等のチップ生産事業を行っており環境に係る事業体として社会的意義があると確信をしております。担い手不足、原材料の高騰等の諸問題はありますが、地域の森林づくりの要望に応え従業員が「安心・安全」に働ける職場環境の整備に組合員・島根県・出雲市・関係諸団体の皆様のご理解ご援助を賜り役員・従業員が一丸となり事業の推進をしておりますので令和6年度もよろしくお願いたします。

令和5年度 決算報告

I. 貸借対照表

令和6年3月31日現在 (単位:千円)

科目	金額	科目	金額
現金・預金	143,249	買掛・未払金	55,672
受取手形	1,247	その他流動負債	16,342
売掛・未収金	105,953	流動負債計	72,014
棚卸資産	42,083	転貸資金借入	495
その他流動資産	10,339	諸引当金	47,990
流動資産計	302,874	固定負債計	48,486
有形固定資産	376,611	負債合計	120,501
無形固定資産	29,497	出資金	390,012
転貸資金貸付	492	法定準備金	66,310
外部出資金	27,250	任意積立金	152,994
その他の資産	790	(損失補填積立金)	(88,896)
		(森林整備積立金)	(5,097)
		(労働安全対策積立金)	(2,000)
		(事務所修繕積立金)	(12,000)
		(加工施設整備積立金)	(20,000)
		(車輛整備積立金)	(10,000)
		(高性能機械整備積立金)	(15,000)
固定資産計	434,643	当期末処分剰余金	7,695
		(当期剰余金)	(5,825)
		(前期繰越剰余金)	(1,549)
		(任意積立金取崩額)	(320)
		資本準備金	3
		純資産合計	617,016
資産合計	737,517	負債・純資産合計	737,517

II. 損益計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日 (単位:千円)

科目	金額
事業総収益	681,933
事業総費用	529,418
事業総利益	152,515
事業管理費	159,446
事業損失	△6,931
事業外収益	10,069
事業外費用	2,616
経常利益	522
特別収益	24,529
特別損失	18,610
税引前当期利益	6,442
法人税、住民税及び事業税	616
当期剰余金	5,825
前期繰越剰余金	1,549
森林整備積立金取崩額(目的内)	320
当期末処分剰余金	7,695

III. 令和5年度剰余金処分案

(単位:千円)

科目	積算内訳	小計	金額
当期末処分剰余金			7,695
剰余金処分額			
法定準備金	当期剰余金の20%以上	1,200	
任意積立金		5,000	
(高性能機械整備積立金)		(5,000)	6,200
次期繰越剰余金			<u>1,495</u>

※記載表示の千円未満は切り捨てております。

令和6年度 通常総代会提出議案

- ◆第1号議案……令和5年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表及び附属明細書の承認について
- ◆第2号議案……令和6年度事業計画の設定について
- ◆第3号議案……令和6年度内における借入金最高限度額決定について
- ◆第4号議案……1組員に対する貸付金最高限度額決定について
- ◆第5号議案……諸手数料率決定について
- ◆第6号議案……令和6年度役員報酬額の決定について
- ◆第7号議案……余裕金預け入先決定について



★ 事業部 ★
**森林整備課からの
 事業紹介**



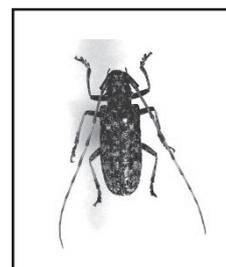
松枯れ処理(防除)

近年、海岸線に植栽したクロマツが枯れはじめ、防砂(防風)の役割の機能を失いつつあり、年々被害が拡大し深刻な状況です。

松枯れの原因の殆どがマツ材線虫病であり、原因となっているマツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリを駆除する必要があります。

そこで行政機関と協力し、海岸線沿いの枯松をチップ(写真①)に加工したり、くん蒸処理(写真②)をし媒介を防いでいます。

また、地上薬剤散布(写真③)を行い、松が枯れないよう防除作業も実施しています。



マツノマダラカミキリ

写真①



写真②



写真③



(※写真①②は島根県の事業の一例です)



忌避剤散布

今までシカと言えば、出雲市内においては北山と湖北山地の話でしたが、多伎町においてもヒノキの幹が傷つけられる被害が発生しました。

当組合では初めてとなる、シカ等の獣害対策として忌避剤散布を実施いたしました。

忌避剤には、シカや野ウサギが嫌う成分がふくまれており、樹幹の皮はぎ被害を防ぐ効果があります。

苦勞して植栽した苗木を守るため、1本1本に散布し被害を最小限に食い止めたいためです。



★ 事業部 ★ 業務課からのお知らせ

事業部業務課では、組合員の皆さまのお家の周りや管理地などの樹木の剪定伐採を手掛けております。

「家屋の屋根まで枝が伸びてきた」、「木が大きくなって手に負えない」等の相談や「自然災害で建物周りの樹木が倒れないか心配だ」などの困り事があればご連絡ください。

対象木やその周りの状況、構築物や架空線の有無により施工方法も異なりますので、一度対象木を含む現地確認をさせて頂き、お見積もりをいたします。

問い合わせ先 業務課 ☎0853-22-4433

近年、この様なご相談やご依頼が多く寄せられており、順次作業を行っていますが、施工までに日数を要する事があります。

組合員の皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますがご了承をお願いいたします。



組合員の皆様をお願いします!



組合員資格の異動は手続きが必要になります

- ◆組合員様が亡くなられたとき ◆名義を変えたいとき
- ◆転居等により住所・連絡先を変更されたとき

必要な用紙を送付しますのでご連絡をお願いします

総務課 ☎0853-22-4433

緑の少年団活動

5月24日(金)に佐田中学校の「緑の少年団」では、活動の一環として目田森林公園近くの実習林で間伐作業体験が行われ、佐田中学校教員、島根県の普及員、佐田町建築組合、教育後援会のほか当組合からも参加いたしました。

まず県の普及員から間伐の意義についての話と間伐作業における注意点の説明を受け、道具を持って入山しました。

作業手順は、組合の作業班長が説明し各班に分かれて伐倒から玉切の作業を行いました。

生徒さんは、手鋸での慣れない作業に悪戦苦闘、指導する方にも熱が入ります。

佐田中学校では、毎年この時期に間伐作業を行い、この体験を通じ森林の大切さを学んでおられます。また、間伐された材を利用して木製ベンチを作成し、いろいろな施設へ寄贈されます。

このような活動を通じて若い人達に山や森の楽しさと、木の使い方などに興味をもってもらえればと思います。



竹林の拡大抑制に最適 除草剤



- ・タケ・ササを根まで枯らし、翌年の再生を抑えます。
- ・スギナ、ススキ、ヨモギなど幅広い雑草に効きます。

☆散布時期 春 3月～6月
秋 9月～11月

購入時の 注意点

- デゾレート等の毒劇物は、組合本所にて対面販売のみとなります。
- デゾレートは劇物の為、購入の際には本人確認のできる身分証明書と印鑑（認印）をご持参願います。

